

2023 年度 フロンティアセミナー

あるがままのその人をみる多職種協働 —事例と看護理論を結びつけながら話し合おう

医療現場では、その人に寄り添った治療・ケアの提供を目指して多職種がかかわっていますが、うまくいかないこともあります。その人に寄り添うには多職種とどう協働できるのでしょうか。今年度のフロンティアセミナーでは、新たな治療を選択した慢性の病いと生きる人への支援を振り返り、その人をトータルに捉えようとするベナー&ルーベル看護理論と結びつけながら、多職種による実際のかかわりを考察します。実践者と研究者の対話に基づく考察によって、あるがままのその人をみる多職種協働の新たな意味を発見したいと考えています。

2024 年 2 月 24 日（土） 13:30～15:30

Zoom ウェビナーによる WEB 開催

I. 事例を振り返る

腹膜透析を導入した A 氏への多職種協働

～グループインタビューを通じた振り返り

語り手 前川 早智子（日本赤十字社医療センター 看護師）

山田 将平（日本赤十字社医療センター 腎臓内科医師）

岡 文恵（日本赤十字社医療センター メンタルヘルス科医師）

II. 事例と看護理論を結びつける

ベナー&ルーベル看護理論と結びつけた A 氏への支援の考察

～グループインタビューでの語りを読み解きながら

解釈者 細野 知子（日本赤十字看護大学准教授・基礎看護学）

テキスト パトリシア・ベナー&ジュディス・ルーベル

『現象学的人間論と看護』（医学書院、1989/1999）

III. 総合討論

事例と看護理論を行き来しながら多職種協働の可能性を議論

◆参加費：3,000 円

ホームページの専用申込みフォームからお申し込みください。

<https://www.redcross.ac.jp/research/frontier/seminar/>

◆申込み締切：2024 年 2 月 13 日（火）

◆お問い合わせ：03-3409-0924（企画課企画振興係）／chiiki@redcross.ac.jp



一人ひとりを大切に、
人と人がつながる社会へ向けて、
看護から風を巻き起こそう



日本赤十字看護大学 地域連携・フロンティアセンター